

2021年4月12日
株式会社ジュピターテレコム

～「J:COM LINK」ますます使いやすく進化～ 日本初のリアルタイム放送レコメンド&リモコン「TVer」ボタン搭載



(全機種) 4月下旬～ リアルタイム放送のレコメンド



(新機種) 4/12～ 一部地域で先行提供

株式会社ジュピターテレコム(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:石川 雄三)は、97ch^{*1}以上のテレビ放送とNetflixやDAZN、TVer等の動画配信サービスが1台で楽しめるSTB「J:COM LINK」において2021年4月より、日本初のリアルタイム放送のレコメンド機能など、より快適にコンテンツを楽しんでいただくためのアップデートを実施します。さらに、日本初となる「TVer」ボタンが実装される「J:COM LINK」の新機種を一部地域^{*2}で先行提供します。

「J:COM LINK」は次世代の視聴体験をお届けすることをコンセプトに、2019年12月に提供開始したSTBです。迫力の4K映像や臨場感のある立体音響Dolby Atmos[®]に対応しており、テレビ画面で放送と動画配信サービスなどが楽しめることに加え、テレビの無い部屋や外出先からスマホやタブレットでリモート視聴^{*3}できる機能を備えており、“いつでも、どこでも”、多彩なコンテンツをシームレスにお楽しみいただけます。

■レコメンド機能の高度化

これまで蓄積された視聴データの解析を元に、4月下旬からレコメンド機能が放送中番組にも対応し、97ch^{*4}もの放送局からオススメ番組をリアルタイムでご提案します。世帯として楽しめる「J:COM LINK」ならではの開発により、テレビの前に誰がいるかを推定するユニークなレコメンド方式です。

視聴履歴や作品に関するあらゆる起点で、テレビの前にいる視聴者がお一人でもご家族でも、「今何かやっていないかな」と思うその時に、嗜好に合った番組や作品をオススメします。また、デバイス毎の視聴履歴や利用者ログイン情報に基づく一般的なレコメンドと異なり、利用者選択も不要です。

さらに、「音声検索の精度向上」や「VOD 倍速再生」など、より快適にコンテンツを楽しんでいただくためのアップデートも3月末に実施しております。

■日本初の「TVer」ボタンをリモコンに搭載した新機種も登場

4月12日(月)からは、日本初の「TVer」ボタンと、「Netflix」ボタンをリモコンに搭載した「J:COM LINK」の新機種も、一部地域で先行して提供します。^{*2}

テレビ画面での「TVer」視聴者は全体として増加傾向にあり^{*5}、「J:COM LINK」のプリインストールアプリの中

でも人気の高い民放公式テレビポータル「TVer(ティーバー)」をワンボタンでご利用いただけることとなり、「J:COM オンデマンド」による専門チャンネルの見逃し視聴に加えて、地上デジタル放送や BS デジタル放送チャンネルの見逃し視聴も、より簡単にテレビの大画面でお楽しみいただけます。

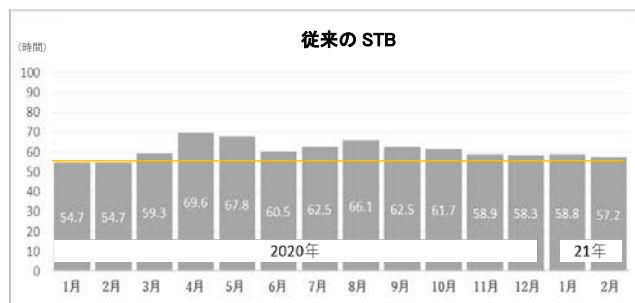
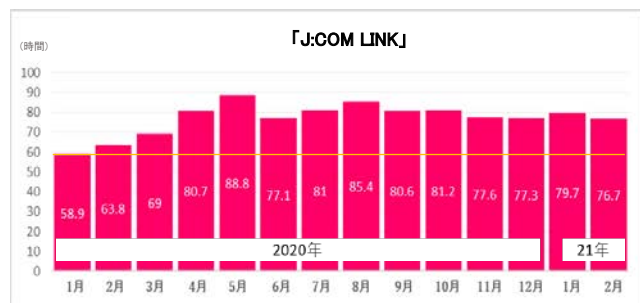
さらに、同日より「TVer」が「J:COM LINK」のレコメンド対象となりますので、「TVer」のバラエティ豊かなコンテンツの中からも、お客さま好みの番組をご提案します。

■高視聴を維持する「J:COM LINK」

近年ではエンターテインメントの選択肢が拡がりやコンテンツの消費スタイルの変化が大きく、“若者のテレビ離れ”などとも言われていますが、放送と動画配信サービスを視聴できる「J:COM LINK」では、従来の STB と比較し、テレビ画面での視聴時間の伸びが顕著に見られます。

まず、2020 年 1 月から 2021 年 2 月までのテレビ視聴時間の推移について、巣ごもり需要により視聴時間の伸長後、従来の STB では元の水準に戻りつつありますが、「J:COM LINK」では高視聴を維持しています。

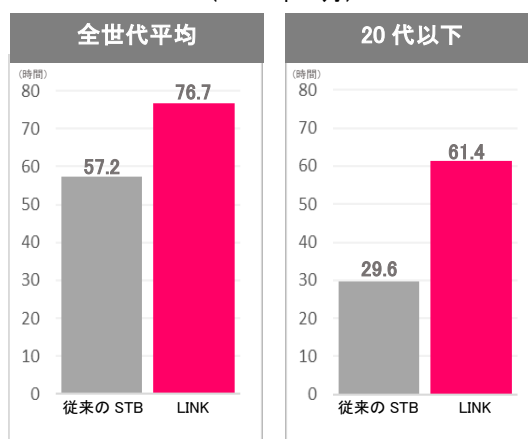
＜ J:COM TV サービスの月間平均視聴時間 ＞
(2020 年 1 月～2021 年 2 月)



＜ J:COM TV サービスの世代別平均視聴時間 ＞
(2021 年 2 月)

次に、2021 年 2 月における世代別の月間平均視聴時間について、「J:COM LINK」と従来の STB を比較すると、全世代平均では「J:COM LINK」の方が約 20 時間ほど視聴時間が長く、20 代以下においては、倍以上の視聴時間となっています。

* 集計対象の契約プランは、J:COM TV スタンダードプラス、J:COM TV スタンダードです



テレビ・インターネット・モバイルサービスなど、エンタメからインフラサービスまで提供する J:COM では、お客さまの体験価値の向上に取り組んでいます。「J:COM LINK」では、次世代の視聴体験を提供することを目指し、今後もお客さまの心に響くサービスの提供に努めてまいります。

- * 1 チャンネル数はご提供する専用チューナー経由でご覧いただける、地上デジタル放送と BS デジタル放送を含みます。
- * 2 新機種は先行して札幌・九州地域で提供開始します。お客さまからの機種指定は原則受けられません。
- * 3 リモート視聴は一度に 1 台まで。「J:COM LINK」のテレビ放送と同じか別の番組、あるいは録画物、OTT を視聴できます。
- * 4 2021 年 4 月現在。オプションの成人向けチャンネルや、地上デジタル放送・BS 放送・BS4K 放送は含まれていません。
- * 5 「TVer」のテレビアプリは 2021 年 2 月には 2 割以上がテレビアプリから視聴 <「TVer」デバイス別視聴人数の割合: スマートデバイス 57.0%・テレビアプリ 22.7%・PC20.3% (株式会社ビデオリサーチ調べ)>

Appendix

■「J:COM LINK」レコメンド機能について



「J:COM LINK」のレコメンドはライン構成になっています。

視聴履歴に基づくオススメ番組から、動画配信サービスのおすすめ、全ユーザー共通の J:COM イチオシ番組、録画予約ランキングなど、放送から動画配信サービスまで、横断的にオススメコンテンツをご紹介します。

<新登場のレコメンドライン>

- ・TVer からのオススメ (4/12～)
- ・イベントプレゼント応募 (4/12～)
- ・放送中の専門チャンネル (4月下旬～)

■「J:COM LINK」新機種種のスペック表

端末名		J:COM LINK XA402
提供開始日		2021 年 4 月 12 日
STB 本体	サイズ(W/D/H)	約 260mm x 約 218mm x 約 35mm
	重量	約 1.21kg
	OS	Android TV (Android 9)
	通信機能	LAN ポート: 1 x 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T Wi-Fi: IEEE 802.11a/b/g/n/ac 2x2 MIMO ケーブルモデム: DOCSIS 3.0 準拠
	テレビ機能	地デジ、BS、BS4K、CATV: 3 系統 CAS: ACAS
	接続端子	背面: 1 x USB3.0(録画 HDD 用)、前面: 1 x USB2.0
	RAM	3G Byte
	ROM	16G Byte
	HDR	HDR10 / HLG
	音響	Dolby Audio®
リモコン	Bluetooth	Bluetooth 4.2 (BDR/EDR/BLE)
	サイズ(W/D/H)	約 50mm x 約 255mm x 約 21mm
	使用電源	単 4 型乾電池 2 個
通信方式		Bluetooth Low Energy、赤外線方式
主なプリインストールアプリ		TVer、Netflix、DAZN、ABEMA、J SPORTS オンデマンド、WOWOW オンデマンド、YouTube™、YouTube Music、GooglePlay ゲーム、GooglePlay ムービー & TV、マカフィーセキュリティ for TV、J:COM オンデマンド、J:COM HOME、ど・ろ・一かる

- ・Google、Android、Android TV、Google Play ムービー & TV、Chromecast built-in は、Google LLC の商標です。
- ・HDMI は、米国 HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ・Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Vision、Dolby Audio およびダブル D 記号は、アメリカ合衆国と/またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。
- ・Bluetooth は米国 Bluetooth SIG Inc. の商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名、サービス名などは、各社の商標または登録商標です。
- ・画像はすべて、イメージです。

ジュピターテレコムについて <www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム(本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社66局を通じて約557万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,180万世帯です。番組供給事業においては、16の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は2020年12月末現在の数字です。